

九月例会御案内

(平成二十九年・通算第三六七回)

時代を刷新する会

○御案内

九月六日(水) 正午～午後2時半

参議院議員会館 一階 一〇二会議室

講師 本年の「防衛白書」について

講師 小野功雄・防衛省大臣官房企画評価課長、前内閣官房内閣参事官、

◎ 日本を取り巻く東アジア情勢は、近年ますます厳しさを増しております。まず、北朝鮮は、先代の金正日以来、ミサイル開発と核実験に取り組み、現指導者・金正恩は、軍事独裁色を一層強め、日本列島を網羅するノドン級やムスタン級ばかりではなく、グラム、ハワイ、さらには、米本土に到達するICBMの開発、さらには、それに登載する核弾頭の小型化にも成功したと誇示。また、尖閣諸島への圧力、南シナ海の岩礁の埋立・基地化を進める中国がどう出るか。さらには、ロシアもどう出てくるのか、わが国の対応・準備・防衛はどうなっているのか、心配です。そこで、このたび、防衛省が、今年度の「防衛白書」をまとめ、発表されたので、その御解説をお願いに出た結果、防衛白書を企画・編集された中心部署・大臣官房企画評価課の小野功雄課長様が、お出掛け下さいます。時節柄、最重要課題、奮っての御参加お待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 午前十一時半から入館可能です。

時代を刷新する会

△ 当日連絡先

080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津

九月六日(水)の月例会に

出席 欠席 (いずれかに○印を)

http://www.jidaisassin.jp (通話のみ)

電話 03-3272-4320
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX
メール

▽九月四日(月)までに欠の御連絡賜りたく。

○御報告

去る七月十四日(金)の月例会は、北朝鮮の核・ミサイルの急速な開発、また韓国の文在寅新大統領はいかなる人物でどういう思想の持主か、を勉強したいと考え、それには、朝鮮半島情勢に詳しい、韓国人の学者・研究家の方をと思い、数年前にもお願いした、韓国の海軍大学校出身で、韓国国防省北朝鮮分析官も務められた高永喆(コウ ヨンチョル)先生に、「北朝鮮の核・ミサイル性能と韓国新政権の状況!」と題して、御解説をいただきました。高永喆先生は、当日の講話のために、沢山の資料を映像・スライド化し、さらに、その主要な部分をコピーして手元に配付した上で、北朝鮮の歴史経過と韓国の歴史経過とを、時系列化して詳しく説明して下さいました。その内容は広範にわたるので、その要旨を掲げますと、まず、北朝鮮の国柄は、昔、中国(隋・唐)の侵攻を2回、撃退した強い高句麗の末裔だという誇りがある。他方、弟だと思っていた日本に制圧されたことを屈辱と思っている。北朝鮮の核は、プルトニウム型が七個、ウラン型が七個、十個、保有している。アメリカへ届くICBMもすでに保有している。アメリカは、米本土への脅威となれば軍事行動に出る可能性があり、戦争開始の名分を得たい。韓国の文在寅大統領は、北朝鮮をまず訪問するといっていたが、北朝鮮が相手にしないので、減額するといっていた国防予算も逆に増額する事態だ。在韓米企業が撤退している現実もある。韓国人は、本音では日本が大好きだ、焼肉よりも寿司に人気がある等々、いろいろと、南北朝鮮半島の情報の披瀝があり、大層、参考になりました。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・国会対策副委員長。その前外務副大臣。岸信夫衆議院議員は当団体の創立者。岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介